

## 十勝川水系 ダム洪水調節機能協議会 規約

### (名称)

第1条 河川法（昭和39年法律第167号）第51条の2に基づくダム洪水調節機能協議会として、「十勝川水系 ダム洪水調節機能協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

### (目的)

第2条 協議会は、昨今の水害の激甚化・頻発化に鑑み、緊急時において既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用して水害の発生の防止等が図られるよう、今後、河川管理者、関係利水者の密接な連携の下、事前放流等の取組をより効果的に実施する必要があることから、洪水調節機能の向上の取組の継続・推進を図ることを目的とする。

### (協議会の対象ダム)

第3条 協議会は、十勝川水系治水協定における別紙1のダムを対象とする。

### (協議会の構成)

第4条 協議会は、別表の職にある者をもって構成する。

2 協議会には会長を置き、会長は帯広開発建設部長とする。

3 会長は、協議会の事務を統括する。

4 協議会は、必要に応じて別表の職にあるもの以外の関係行政機関に対し、資料の提供、意見の表明、説明その他必要な協力を求めることができる。

### (協議会の実施事項)

第5条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

一 事前放流等を実施するための河川管理者と関係利水者との間で締結される治水協定の締結や見直しに必要な協議。

二 河川管理者とダム管理者との間の情報網の整備に必要な協議。

三 事前放流の実施に必要となるダムの操作の操作規程等への反映に必要な協議。

四 利水容量を洪水調節に最大限活用するための工程表の作成や見直し及び工程表に基づく施設改良等の取組に必要な協議。

五 更に効果的に事前放流等を実施するために必要となる降雨の予測精度の向上等に向けた技術・システム開発に必要な協議。

六 その他、洪水調節機能の向上に必要な協議。

(協議会資料等の公表)

第6条 協議会に提出された資料等については、速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については、協議会の了解を得て公表しないものとする。

2 協議会の議事については、事務局が議事概要を作成し、出席した構成員の確認を得た後、公表するものとする。

(事務局)

第7条 協議会の事務局は、帯広開発建設部に置く。

(雑則)

第8条 この規約に定めるもののほか、協議会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項については、協議会で定めるものとする。

(附則)

この規約は、令和3年9月30日から施行する

十勝川水系既存ダムの洪水調節機能強化に係る協議の場を承継し、本協議会とする。

別表

河川管理者（第五十一条の二第2項第一号関係）

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部長（国土交通大臣：十勝ダム、札内川ダム）

利水ダム等に係る水利使用に関し許可を受けた者（第五十一条の二第2項第二号関係）

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部長（農林水産大臣：幕別ダム、美生ダム）

北海道電力株式会社 水力部長（岩松ダム、富村ダム）

電源開発株式会社水力発電部 東日本支店長（活込ダム、元小屋ダム、糠平ダム、屈足ダム、幌加ダム、糠南ダム）

十勝中部広域水道企業団企業長（札内川ダム使用権者）

関係都道府県知事（第五十一条の二第2項第三号関係）

北海道 十勝総合振興局長

その他の河川管理者が必要と認める者（第五十一条の二第2項第四号関係）

幕別ダム管理者：幕別町長

美生ダム管理者：芽室町長

※下線付きは治水協定の締結者

## 別紙 1

ダム名	ダム管理者
十勝ダム	北海道開発局
札内川ダム	北海道開発局
佐幌ダム	北海道
岩松ダム	北海道電力(株)
富村ダム	北海道電力(株)
活込ダム	電源開発(株)
元小屋ダム	電源開発(株)
糠平ダム	電源開発(株)
屈足ダム	電源開発(株)
幌加ダム	電源開発(株)
糠南ダム	電源開発(株)
美生ダム	芽室町
幕別ダム	幕別町